

科目区分	専門教育科目	科目名	比較文化		科目コード	18L490	担当者	奈良 望			
対象学生	ビジネス・医療秘書コース 2年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件		必修			
						免許・資格要件		秘書士必修			
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
幕末以後の約160年間、日米両国の関係は戦時も含め密接なものである。この近くて遠い国である米国について学ぶことによって、自国日本をより深く理解することを目指す。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	米国の成り立ちを理解する。										
2.	日米の相違点及び共通点を知る。										
3.	視野を広げることによって日本への理解を深める。										
4.	世界の中での米国及び日本の立ち位置を知る。						○	○	○	○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						プレゼンテーション・提出物（60%） 受講態度（40%）					
講義形式を取るが全般的・概論的にならないようにし、具体的な事象をなるべく取り上げ、各時代を生きた人々の生き方・考え方を理解してもらえるように努める。知識ではなく考え方に関する質問を通して学生の発表機会を多く持つよう努める。											
準備学修						課題等への対応					
米国に関わるニュースが報道されない日はないので、努めてそれらに触れる習慣を身に着ける。資料・プリント等を事前に配布する場合には必ず目を通してここと。（毎日30分程度）						レポートはコメントを付けて返却し、更なる意見・質問を促す。					
授業計画											
第1回	Introduction 文化とは？										
第2回	米国の成り立ち（英国の植民地はなぜ独立を目指したか？）										
第3回	南北戦争（1861－1865）と明治維新（1868）										
第4回	二十世紀における日本の膨張と太平洋での激突										
第5回	第二次世界大戦後の日本の発展と米国との関係										
第6回	多民族社会の明暗										
第7回	Presentation1										
第8回	Presentation2										
第9回	Presentation3										
第10回	Presentation4										
第11回	American Pop Cultureの拡がり										
第12回	教育に見る日米の違い										
第13回	銃社会の論理と思想（提出物）										
第14回	世界の中のアメリカと日本										
第15回	日米関係の未来										
試験	定期試験を実施しない										
教科書	必要に応じプリント等を配布。				受講生へのメッセージ		時代や環境によって人の考え方や生き方は影響を受けることを理解し、他者に対する想像力を育てましょう。				
参考書等	なし										